

# ANTEC

会社案内

株式会社アンテック

会社名称	株式会社アンテック	
所在地	〒701-4254 岡山県瀬戸内市邑久町豆田116-3 TEL(0869)22-2155 FAX(0869)22-3141 e-mail info@antec-japan.net URL <a href="http://www.antec-japan.net/">www.antec-japan.net/</a> メインページ <a href="http://www.antec-shop.net/">www.antec-shop.net/</a> 販売専用ページ <a href="http://www.antec-shop.net/rental/">www.antec-shop.net/rental/</a> 備前焼レンタルページ	
資本金	1500万円	
代表取締役	末石 建二	
経営理念	我が社は炎を味方として文化を構築、炎を敵として文化を保守し、人類の豊かな暮らしと繁栄を電子技術で見つめます。	
創 業	平成3年9月(屋号:アンテック) 平成9年5月(株式会社アンテック)	
業務内容	各種電子回路設計・ソフトウェア設計及び電子機器の保守 自社商品の開発・製造・販売 / 他社電子機器の販売・保守 陶芸機器・材料の製造・販売	
関連企業	ANTEC-KOREA Co.,Ltd(韓国)	
共同研究機関	独立行政法人物質・材料研究機構 物質研究所スーパーダイヤグループ	
取扱い商品	自社製品 : 陶芸用支援機器・保安用機器・自動化機器・分析機器・測定機器・NTT用保安機器 ソフトウェア・セキュリティー機器(紫外線センサー応用機器) 他社製品 : KENWOOD・Canon・家庭電化製品・無線機等の移動通信機器・OA機器 陶芸機器(電気窯・ガス窯・土練機・粉碎機・ポットミルなど) 陶芸材料一式(釉薬・粘土・小道具など)	
納品実績	官公庁 : (独)物質材料研究機構・(独)産業技術総合研究所・岡山県工業技術センター (財)電力中央研究所・北海道電力・(学)川崎学園・(学)中央工学校・美作女子大学 東京芸術大学・岡山学芸館高等学校・備前緑陽高等学校・関西高等学校・倉敷高等学校 (社)関谷福祉会・伊部小学校・伊里中学・大宮小学校・関谷学園・岡山養護学校・丸亀養護 学校・岡山県商工会連合会・岡山県地方振興局・下松市地域交流センター・広島県神石高原 町・香南市野市町・広島県警察本部・神戸市消防局、その他 企 業 : 日本キャストブル工業(株)・日本コムシス(株)・扶桑電通(株)・NTTネオメイト中国(株) (株)テムザック・伊丹産業(株)・ヤマハ発動機(株)・小泉産業(株)・日立粉末冶金(株) NEC通信システム(株)・松下制御機器(株)・松下中央研究所・日立ビル管理システム(株) ホーチキ(株)・中原三法堂(株)はせがわ・大和ハウス工業(株)・丸善工業(株) (株)全備・三井ホームリモデリング(株)・その他 その他 : 陶芸作家・窯元・画廊 等 地 域 : 国 内/全国      国 外/イタリア・韓国	
主要取引先	(株)ケンウッド・(株)ケンウッドサービス・(株)ケンウッドケネックス・山里産業(株)・キャノン販売(株) (株)西日本常盤商行・ライト電業(株)・オリックス(株)・ロボトピア・(有)パイオニード・菱電商事(株) 日本テレコム(株)内尾イラスト倶楽部・バスト電器(株)・(株)オリエントコーポレーション・(有)アット (株)NDS・ポーダフォン中国(株)・(株)林田鉄工・大蔵商事(株)・(有)ケニックシステム(株)・三光電業 (株)福澤工業日本キャストブル工業・(株)・新生電機(株)・(有)エムズシステム・(株)ネットアライブ 新日本造形(株)・日本電産シンポ工業(株)・(株)高木商会・NAISロケーションシステムズ(株) 日陶科学(株)・新日エレクトロニクス(株)・VTEC(株)その他	
取引銀行	中国銀行 : 長船支店 (普通)1084206      日生信用金庫 : 長船支店 (普通)0023593 中国銀行 : 邑久支店 (普通)1307744      岡山信用金庫 : 西大寺支店(普通)0517483 トマト銀行 : 西大寺支店(普通)6272182	

## 会社沿革

- 1991年 9月 : (株)ケンウッドと技術契約を結び、屋号アンテックとして業務を開始する。
- 1992年 2月 : 備前焼を中心に窯焚用の支援装置の開発に着手する。
- 3月 : ケンウッド商品の販売会社(株)ケンウッド・ケネックスと契約を結ぶ。旧社名:ケネックス
- 1993年 1月 : 窯焚支援装置『AN1000』の販売を開始する。
- 1994年 1月 : 窯焚支援装置『AN500』を開発、販売を開始する。
- 5月 : 無線式転送システム DTMF401を開発、販売を開始する。
- 7月 : 記録用プリンター IDP3110を開発、販売を開始する。
- 1995年 2月 : 窯焚支援装置 AN500Sを開発、販売を開始する。
- 7月 : 炎検出装置を開発、燃料自動停止装置AN501の販売を開始する。
- 1996年 1月 : AN501の改良機種としてAN511を開発、販売を開始する。  
産経新聞にAN1000・AN501が『焚き方音声で指示』の見出しで紹介される。 (25日)
- 5月 : J-フォン中国(株)の代理店となる。旧社名:デジタルツーカー中国(株)
- 6月 : DDI中国ポケット(株)の代理店となる。
- 7月 : 多数バーナー用の安全装置としてAN518を開発、販売を開始する。
- 9月 : 通信ケーブル工事用の安全装置、SIT010を開発、販売を開始する。
- 11月 : 燃料自動調整装置 AN2100を開発、販売を開始する。  
第2回アジア陶芸フェスティバル(インテックス大阪)に出展する。
- 1997年 1月 : キヤノン販売(株)と契約を結ぶ。
- 5月 : アンテックを法人化、株式会社アンテックとする。
- 7月 : インターネットプロバイダー(TikiTiki.net)と代理店契約を結ぶ。
- 9月 : 西日本陶磁器フェスタ(北九州市)に出展する。
- 10月 : 発明奨励賞受賞(財)発明協会 (22日)  
第3回アジア陶芸フェスティバルに出展する。 (31日~11月3日)
- 1998年 1月 : 窯焚き支援装置 AN350を開発、販売を開始する。
- 2月 : オリックス(株)と代理店契約を結ぶ。  
ホームページを開設する。(www.nmrpro.net/~antec/)
- 3月 : 日本テレコム(株)と代理店契約を結ぶ。
- 5月 : 国際グラフ(5月号)にて紹介される。
- 6月 : (株)オリエンコーポレーションと代理店契約を結ぶ。
- 1999年 3月 : 全国陶磁器フェアIN福岡(マリンメッセ福岡)に電気窯用自動焼成装置SFK020を参考出品する。
- 4月 : 電気窯用の安全装置としてAN900を開発、販売を開始。
- 8月 : 電気窯用自動焼成装置、SFK020のOEM供給を開始する。  
陶芸用温度データロガー(探るでえ君1世)を開発、販売を開始する。  
山陽新聞に『備前焼・窯たき支援』で紹介される。 (14日)
- 9月 : 山陽新聞に『陶芸用電気窯の焼成温度を制御』で紹介される。 (25日)
- 10月 : 陶芸ジャパン'99にSFK020を出展する。 (27~31日)
- 11月 : 『情報宅配便』(テレビせとうち)にて紹介される。
- 2000年 4月 : 山陽新聞に『新生地域経済・人と企業』で紹介される。 (20日)
- 6月 : 社団法人電信電話工事協会より小型電圧変換器の開発で表彰される。 (9日)
- 7月 : イイヤマ販売と代理店契約。低価格パソコンの販売強化を図る。
- 2001年 3月 : 山陽新聞に『ITと地域(窯温度をネットで監視)』で紹介される。  
<http://www.sanyo.oni.co.jp/kikaku/kizuna/business/kizuna0404.html> (30日)
- 8月 : 『世界陶磁器エキスポ2001in韓国』に出展。(韓国・利川 8月10日~10月28日)
- 11月 : 中小企業経営革新支援法により承認を受ける。 (27日)
- 12月 : 日刊工業新聞に『火災監視装置を開発へ』で紹介される。 (18日)
- 日刊工業新聞に『陶芸ハウスを販売』で紹介される。 (20日)
- 日刊工業新聞に『自動焼成装置SOK032』が紹介される。 (20日)
- 2002年 5月 : 岡山県中小企業経営革新支援対策費補助金交付決定を受ける。 (21日)
- 7月 : 東京・プリズムホールにて代理店説明会を開く。 (12日・13日)
- 日刊工業新聞に『陶芸専用ハウス・販売代理店募集』で紹介される。 (16日)
- 日刊工業新聞に『保険計算システムを岡山県商工会連合会に納入』で紹介される。 (17日)
- 9月 : 西日本陶磁器フェスタに出展。『アトリエハウス』を一般公開する。 (20日~24日)
- 2003年 6月 : 放火検出システム(SKH045/046)を開発、販売を開始する。  
ビジネスショー2003大阪(インテックス大阪)に出展。 (4日~6日)
- 日本経済新聞・日経産業新聞・日刊工業新聞・山陽新聞・岡山日日新聞で紹介される。
- 7月 : 自動焼成装置(SOK032)を開発、販売を開始する。

	10月 :	中小企業ビジネスフェア2003(東京ビックサイト)に出展	(29日~31日)
	12月 :	放火検出センサー(SKH047/048)を開発、販売を開始する。	
	12月 :	窯焚支援装置(AN5500/AN5100)を開発、販売を開始する。 AN501Sの生産を中止する。	
2004年	1月 :	月刊コロンプスで紹介される。	
	2月 :	中国NBCin広島に出展。	(10日)
	3月 :	山陽新聞に『簡易通報装置を開発(アンテック・松下制御機器と)』で紹介される。	(18日)
	4月 :	山陽新聞『探訪 ザ・カンパニー』で紹介される。	(21日)
	6月 :	ビジネスショー大阪2004にSKH047を出展。	(2日~4日)
	7月 :	日刊工業新聞『頑張れVB』で紹介される。	(23日)
		国民生活金融公庫調査月報No519号で紹介される。	
	8月 :	SKH047/048専用電源ユニットSKH053の販売を開始する。	
	9月 :	WinWin2004in広島に出展。	(17日)
	10月 :	山陽新聞に『天井走行ロボ開発』で紹介される。	(6日)
	11月 :	徳島ビジネスチャレンジメッセ2004に出展。	(11日~13日)
		津山・夢と技術の産業展に出展。	(13日~14日)
		テクノフェア2004in愛知に出展。	(25日~26日)
2005年	2月 :	西日本放送・ニュースプラスワンで放火検出センサーが紹介される。	
		日本テレビ・宮城テレビでも同取材内容で放送される。	(8日)
	6月 :	日本経済新聞に『家庭向け火災報知機拡販(油引火素早く検知)』で紹介される。	(10日)
		日経MJに『家庭向け火災報知機を強化』で紹介される。	(15日)
		日本経済新聞に『ユニーク商品で拡販』で紹介される。	(21日)
	7月 :	テレビせとうち・ザ・ニュースTSCで特殊フィルター付きセンサーが紹介される。(22日)	
		山陽新聞に『火災センサー仏壇に設置』で紹介される。	(27日)
	9月 :	岡山日日新聞に『思いを形にできる喜び』で紹介される。	(16日)
	10月 :	物質・材料研究機構と共同研究に着手する。	(1日)
		経済レポート『世界最高性能・通信機能付き放火火災センサー開発』で紹介される。	(1日)
		東京営業所・開設準備室を設置する。	(1日)
		日本経済新聞に『紫外線センサー開発へ』で紹介される。	(4日)
		日経産業新聞に物質・材料研究機構との共同研究で紹介される。	(13日)
		おかやま財界に「小さな炎も感知、初期消化に威力」で紹介される。	(20日)
	12月 :	Vision岡山「ジャーナル」で紹介される。	(14日)
		Vision岡山「人・往来」で紹介される。	(21日)
2006年	1月 :	火災検出センサー SKH049の販売を開始する。	(1日)
		岡山放送・スーパーニュース、放火検出特集で紹介される。	(13日)
		日本経済新聞「東京で備前焼レンタル」で紹介される。	(19日)
		Vision岡山「配線工事不要の炎検出センサーを発売で紹介される。	(23日)
		朝日新聞「東京で備前焼レンタル業」で紹介される。	(25日)
		日経流通新聞「備前焼レンタル」で紹介される。	(27日)
	2月 :	日本経済新聞「コンセント方の火災報知機発売」で紹介される。	(9日)
		宗教工芸新聞「高感度火災検出センサー」で紹介される。	(15日)
		電波新聞「第4回ビジネスフェア中四国 2日間で3,600人が来場で紹介される。	(22日)
	3月 :	Vision岡山「紫外線センサーで火災検知を」で紹介される。	(6日)
		Vision岡山「海外展開で逆輸入目指す 市場規模と低い障壁魅力」で紹介される。	(13日)
		ダイヤモンド半導体紫外線センサーを利用した防火装置(ZBZ065/ZBZ066)を試作、つくば市の(独)物質材料研究機構にてプレスリリースする。	(14日)
		山陽新聞「新型火災センサー開発」で紹介される。	(14日)
		日経産業新聞「火災 より早く検知」で紹介される。	(15日)
		日刊工業新聞「紫外線センサーで素早く火災を検知」で紹介される。	(15日)
		日本経済新聞「紫外線を使い火災検知素早く」で紹介される。	(15日)
		東京新聞「紫外線センサー利用火災検知システム開発」で紹介される。	(15日)
		セントラル警備保障「GSPセキュリティマガジン」で紹介される。	(20日)
		西日本新聞「太陽光ブラインド紫外線センサー研究最前線」で紹介される。	(21日)
		毎日新聞「ダイヤモンド紫外線センサー検知機」で紹介される。	(25日)
		中国経済産業局「REAL WORK STYLE」で紹介される。	
	6月 :	ふくおか経済「紫外線検出センサーで海外進出目指す」で紹介される。	(1日)
		Vision岡山「携帯電話に動画を配信 新火災通報システム」で紹介される。	(13日)
		エレメント・シックス社(イギリス)	
		IDR「ダイヤモンド紫外線センサーを使用した火災検知システム」で紹介される。	(30日)

	7月	NHKきびきびネット「備前焼レンタル」で紹介される。	(6日)
		Vision岡山「岡山、東京でスタート 備前焼レンタル事業」で紹介される。	(10日)
		NHKおはよう日本「備前焼レンタル」で紹介される。	(24日)
		山陽新聞「備前焼をレンタル」で紹介される。	(27日)
	8月	日本経済新聞「消火後の現場見張ります」で紹介される。	(10日)
		テレビせとうち「せとうち経済ウイークリー」で紹介される。	(26日)
		山陽新聞「そこが聞きたい」で紹介される。	(26日)
		経済レポート「火災発生をセンサーで24時間監視」で紹介される。	(29日)
		朝日新聞「再出火見張ります」で紹介される。	(30日)
	9月	経済レポート「企業パトロール」で紹介される。	(20日)
	11月	Vision岡山「韓国ベンチャーと提携」で紹介される。	(27日)
	12月	仏壇専用火災センサー「SNS059-AC」の販売を開始する。	(1日)
		資本金を1,500万円に増資	(12日)
		経済レポート「コンパクトサイズの仏壇専用火災センサー」で紹介される。	(20日)
		タウン情報岡山「企業紹介(まかせて調査団)」で紹介される。	(25日)
2007年	1月	経済レポート「韓国ベンチャーと提携」で紹介される。	(10日)
	2月	KSBスーパーJチャンネル「世界一の火災センサー」で紹介される。	(1日)
		Vision岡山「備前焼の瓦で門塀改装」で紹介される。	(5日)
		山陽新聞(夕刊)「珍しい備前焼瓦」で紹介される。	(6日)
	6月	山陽新聞「果物畑向け警報装置・侵入者感知し携帯メール」で紹介される。	(16日)
		Vision岡山「紫外線殺菌装置の検知センサーを販売」で紹介される。	(18日)
		光アライアンス「ダイヤモンド紫外線センサを用いた火災検知システム」 (独)物質・材料研究機構との共同研究が紹介される。	(18日)
	7月	山陽新聞「広島・神石高原町 火災センサー設置」で紹介される。	(5日)
		一体型放火検出センサー「SKH072」の販売を開始する。	
		スピーカー型火災センサー「SKH073」の販売を開始する。	
	8月	KSBスーパーJチャンネル「放火犯と闘う！新方式の火災報知機」で紹介される。	(27日)
	10月	3連式陶芸用特殊温度計「AN3300」の販売を開始する。	
	11月	山陽新聞「防火・火災センサー内蔵のサッシ開発」で紹介される。	(20日)
	12月	中小基盤整備機構・近畿支部(販路コーディネート事業の採択を受ける)	
2008年	1月	国連開発計画(UNDP)内、国際情報発展協会(DEVNET)中国事務局より 国際救援&貿易仕入大会へ出展する。(スイス・ジュネーブ)	(29~30日)
	6月	LOOP「株式会社アンテックが考えること」で紹介される	(20日)
	8月	国連開発計画(UNDP/DEVNET)より国際合作プロジェクト証を授与される。 KSBスーパーJチャンネル「岡山から世界へ・炎のベンチャー」で紹介される。	(14日)
		KSB「自由人・会社人」で紹介される。	(31日)
	9月	しんきん合同ビジネス交流会・ビジネスコンテストにて最優秀賞受賞	(18日)
	10月	山陽新聞「DEVNETプロジェクト アンテックが対象に」で紹介される。	(17日)
	12月	日本テレビ「おもいっきりイイ!! テレビ」で紹介される。	(5日)
2009年	3月	山陽新聞「看板用の火災監視装置(ユニークさでアピール)」で紹介される。 看板用センサー(SSW-076)の販売を開始する。	(10日)
	4月	国連開発計画(UNDP/DEVNET)より感謝祭の招待を受ける。 上海・マンダリンホテル(招待客500人)	(27日)
	5月	おかやま財界「不況にひるまず「元気印」」で紹介される。	(5日)
	6月	中国地域ニュービジネス協議会より特別賞を受賞する。	(2日)
	7月	専門誌「TRUCK」にてSCR075が特集で紹介される。	(25日)
	8月	山陽新聞「トラック監視システム開発」で紹介される。 KSBスーパーJチャンネルで紹介される。	(4日) (28日)
	9月	国連開発計画(UNDP/DEVNET)を通じ合弁会社設立の基本合意に調印 ヒルトン上海2F (中国/上海)	(29日)
	10月	RSK山陽放送「元気企業」で紹介される。 トラック用センサーSCR075の発売を開始する。	(12日)
2010年	2月	Vision岡山「韓国の販売体制強化 製造会社立ち上げも視野」で紹介される。	(5日)
	4月	韓国K&G TECH社とANTEC-KOREA設立に関する契約を行いました。	(28日)
	5月	ダウンライト型炎検出センサー(SKH084)の販売を開始する。 スピーカー・フラッシュライト内蔵型炎検出センサー(SKH087)の販売を開始する。	
	6月	おかやま財界「LED蛍光灯内蔵型など3種 炎センサー新製品」で紹介される。	(5日)